

わが職場

「まずは、ヒトありき」
で、夢をカタチに。

これは、当社の創業者であり、現会長である木村大三郎の経営理念です。

当社は、トヨタ自動車の国内五番目となる販売チャンネル「ビスタ店」として、昭和五十五年四月より、高松市にて営業を始めました。設立当初は、一店舗からのスタートでした。そのころは、店名にもなっているビスタに加え、小型車のターセル、名車と言われたクルスタなどを販売しておりました。その後、お客様の利便性向上に努め、店舗数も徐々に増やしてゆきました。(現在は七店舗)

ところが、平成十六年五月に大きな転機が訪れました。トヨタ自動車の新たな国内販売戦略により、新しく「ネッツ店」として生まれ変わる事となったのです。それを機に、社名もトヨタビスタ香川株式会社から、ネッツトヨタ高松株式会社へと変更をいたしました。

また、取扱車種につきましても様変わりし、小型車のヴィッツをはじめ、ミニバンのヴォクシーやヴェルファイア、そして、ハイブリッド車のアクアやプリウスといった人気商品をラインナップに揃えております。

さて、当社の社名や取扱車種につきましては、このように時代とともに大きく変わりましたが、冒頭にも触れました経営理念につきましては、現在に至るまで変わることなく、その思想は脈々と個々の社員に受け継がれています。

お客様があつてこそ私たちは生計を立てられます。ですから、お客様の気持ちを探し、お客様の立場になって考え、安心と信頼を届けられる企業でなければ、社会で必要とされる企業にはなれません。店舗名にもなっている大きな樹木を敷地内に植えたり、ショールームに緑の空間を創ったりしているのも、その考えから来ています。また、大切なお車、そしてお客様の安全・安心を担うエンジニアは、整備士として国家資格を保有してい

ることは当然ですが、更なる技術力の向上のために、トヨタ技術スタッフ検定の取得にも力を入れております。

また、それを実現するために、社員が働く喜びを見つけられる職場環境を作ることも大切であると考えております。例えば、ヒヤリハット事例の情報共有、メンタルヘルス問題解決のための柔軟な勤務変更など、働きやすい職場環境づくりに力を入れていきます。

自動車を取巻く環境は、これから大きく変化して行くことが考えられます。将来的には、ガソリン中心のエンジンから、電気自動車や燃料電池車へのシフト、そして自動運転技術の確立といった事まで可能となることでしよう。しかしながら、あくまでもその中心にはヒトがいます。お客様と向き合い、そして社員ともしっかりと向き合う。人間尊重の姿勢を当社の基本とし、ひとり一人の夢をカタチに出来る企業を目指し続けてまいります。

ネッツトヨタ高松株式会社

管理部 西村 一省